

# ひろつか

広報 2016 7 月  
No.1059 第3金曜日号

## 子どもの悩み 聞いてますか?

小・中学校では楽しい学校生活を過ごす子どもがいる一方で、友人関係や勉強など、悩みを抱える子どももいます。特に夏休みなどの長期休み明けは、心境の変化で、学校に行けなくなる子どもが増える傾向にあります。今号では子どもの問題を解決する市や団体の取り組みを紹介します。

目次	1～3面… <b>特集</b> 背中を押してあげること…子どもを支援する取り組みを紹介します。	8面…「写真リポート」「がんばれ湘南ベルマーレ」「フォト歳時記」「市長こらむ」	●発行 平塚市 ●編集 秘書広報課
	4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉・スポーツ「子どもの健康」「お知らせ掲示板」など	広報ひろつかのPDF版と電子書籍版やデジタルアーカイブは、市ウェブからご覧いただけます。	●法人番号 3000020142034 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 ㊟0463-23-9467

●●●●● 広報ひろつかが届かない場合は、ミッド☎0120-350311(月～金曜日、午前9時30分～午後5時)にご連絡ください。●●●●●

# 背中を押してあげること



適応指導教室くすのきの廊下の壁には活動の写真が貼ってあります

「抱えている悩み、誰かに相談していますか？」  
市内の小・中学校では、スクールカウンセラーを各校に1人配置して、子どもが相談しやすい環境をつくっています。また、各学校では悩んでいる子どもに対して教育相談コーディネーターが中心となり、担任への助言や、個別の支援計画を立てるなど、悩みを解消する取り組みを進めています。校内で解決できない場合は、各支援機関と連携をしながらサポートしています。

## 子どもの気持ちに寄り添う

子ども教育相談センター ☎36-6012

子ども教育相談センターは教育相談や就学相談のほか、訪問相談や適応指導教室での居場所づくりなども支援します。

「最近ではSNS(ソーシャルネットワークキングサービス)が絡んだ友人関係のトラブルが増えていきます」と子ども教育相談センターの相談員、中山文恵さんは説明します。  
悩みを抱える保護者や学校からの教育相談、障がいがある子どものための就学相談などをする同センター。中山さんら相談員は、保護者との面談や関係者での会議を通して、適切な支援を考えます。  
集団になじめないなどの心



ドリルなどで勉強する生徒。分からないところは指導員が個別に教えています

り除きます。「ゆっくり向き合うことで、子どもは徐々に気持ちを話してくれるようになっていきます」。

### 小集団で育む自主性

机やイスが並べられた教室。どこの学校でも見られる光景ですが、ここでは学年の隔たりなく勉強しています。子ども教育相談センター2階にある適応指導教室くすのきでは、不登校になった子どもが少数の集団での活動を通して、学校生活に戻れるようにサポートしています。

上田弘教諭は「子どもの自主性を育むために、自分から行動する気持ちを支援してあげることが心掛けています」と話します。  
くすのきでは上田教諭を含めた3人の指導員が、個別に学習を指導。子どもたちは、自分なりの勉強方法を学ぶことで「一つ一つやればできる」という自信にもつながっています。

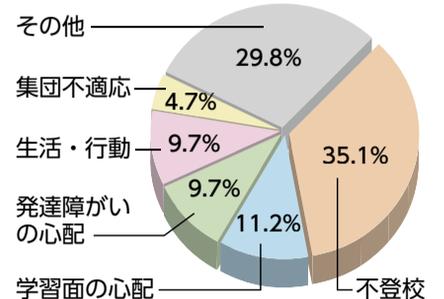
「ここでは元気に過ごしていても、学校の校舎を見るだけで不安になる子どももいます。くすのきは学校と連携して、子どもたちの学校復帰を支援しています。中には、放課後に学校の先生と会ったり、スクールカウンセラーと話したりすることがで



「子どもに自信を」と上田教諭

## 子どもの相談はさまざま

子ども教育相談センターに平成27年度、寄せられた相談は661件。相談内容は不登校・学習面の心配・発達障がいの心配など、さまざまです。



※数字は表示単位未満で、四捨五入しているため、合計が合いません。



積極的に子どもとコミュニケーションをとる登尾さん

### 理解者の一人として

「心を開いてくれるまで根気強く通うこと」と訪問相談員の登尾美津子さんは力強く話します。

子ども教育相談センターでは、不登校で引きこもり傾向にある子どもの学校や家庭に訪問する支援をしています。訪問を重ね、関係ができてきたら、近くの公園を散歩したり、バスの乗車練習をしたりして、一緒に復帰への方向性を探ります。そして、適応指導教室の活動への参加や登校につなげています。  
登尾さんは昨年度、延べ265回の訪問をしました。「キャンセルが続くこともあります」。それでも通い続け、ドア越し

「引きこもり傾向の子どもの『自分が受け入れられていない』と感じることが多くあります。子どもに寄り添うことで、理解者の一人であると感じてもらえたらうれしい」と語る登尾さん。子どもが引きこもりになり、不安を抱える保護者への支援も重要と言います。「心情や願いに耳を傾ける一方で、現状を受け入れ、子どもの気持ちに共感できるよう働きかけています。子育て応援団の一人として手助けしていきたい」と話します。



# 募 集

応募方法は  
下段

## 夏休み親子消費者教室

親子で金融アドバイザーの話を聞いたり、ゲームを通じてお金の役割や使い方などを学んだりします。

8月5日(金)午前10時～正午。市民活動センター。市内在住・在学の小学生と保護者30人(先着順)。

講座名・参加者全員の氏名・学年・電話番号を、電話・メールで、市民情報・相談課 ☎20-5775(joushou@)へ。

## 市民アカデミー 夏休み特別企画

「大草原の小さな家」シリーズの翻訳家による講座やコンサートなどをします。

8月20日(土)・25日(木)、全2回、午後2時～3時30分。中央公民館。両日とも参加できる、中学生以上の方80人(抽選、市内在住・初めての方を優先)。300円。

講座名・必要事項・年齢を、はがき(1人1枚)または

直接、8月4日(木)までに、〒254-0047 追分1-20 中央公民館 ☎34-2111へ。

## こども竹細工教室

コースター作りにチャレンジしませんか。

8月20日(土)午前10時～正午。青少年会館。市内在住の小学校3～6年生20人(抽選・初めての方を優先)。はがき500円。汚れてもよい服装でお越しください。

教室名・必要事項・学年・参加経験の有無を、はがき・ファクス・メールで、7月30日(土)までに、〒254-0041 浅間町12-41 青少年課 ☎32-7029 FAX 31-1441(seishonen@)へ。

## 鎌倉彫を体験しよう

講義を受けて、作品を彫ります。

8月1日(月)午後1時～5時。ひらつかサン・ライフアリーナ。小学校4年生以上の方15人(先着順・小学生は保

# 看護師・助産師として働きませんか

勤務先は5月に新しくなったばかりの市民病院です。

資格がある、または平成29年3月までに看護学校などを卒業し、資格取得見込みの方、50人程度(選考)。採用は4月1日以降。試験は①平成28年8月27日(土)②9月10日(土)③10月15日(土)。

平成29年1月まで毎月試験をします。応募方法や日程など、詳しくは市民病院ウェブをご覧ください。

①は平成28年8月17日(水)②は31日(水)③は10月5日(水)までに、市民病院病院総務課 ☎32-0015へ。



資格を生かして働きませんか

# リトアニア展にお越しください

5月に続いて2回目のリトアニア展を開きます。同国を紹介するパネル展や、バスケットボールチームのドキュメンタリー映画の上映、コースターやハーブティーなどの雑貨を販売します。

7月28日(木)～8月10日(水)。本館1階多目的スペース。雑貨などの販売は3日(水)～10日、午前10時～午後3時30分。

市は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでリトアニアのホストタウンとなりました。今年4月から、同国の駐日大使や農業省代表団の視察を受け入れています。今後もさまざまな分野の交流を進めていきます。

企画政策課 ☎21-8797



パネル展ではリトアニアの美しい景色を紹介します

## ファミリーシネマ劇場

「ドラえもん 新・のび太の日本誕生」を上映します。8月11日(祝)午後1時30分

3時20分。ひらつかサン・ライフアリーナ。1000人(先着順)。

代表者の必要事項・人数を、往復はがき(1世帯1枚)で、〒254-0026 中堂246-1 馬入ふれあい公園管理事務所 ☎25-0011へ。

## 再生家具を提供します

粗大ごみから再生可能な家具を修理・再生して提供します。1人1点。修理費用程度を負担。

8月1日(月)～8日(月)、午前9時～午後4時(8日は正午まで)に、四之宮7-3-5 リサイクルプラザ ☎51-5301で現物を確認し、申込書を直接、同プラザへ。

## 女性のための就職講座

面接の心構えや、ビジネスマナー、化粧の仕方などを学びます。

8月1日(月)午前9時～午後4時。勤労会館。市内在住・

在勤・在学の女性30人(先着順)。

電話で、産業振興課 ☎21-9758へ。

## 就職に役立つパソコン講座

エクセルなどを学びます。

8月2日(火)～4日(木)、全3回、午前10時～午後4時。勤労会館。市内または近隣市町村在住で、就労を希望する15～39歳の方15人(先着順)。

電話で、県西部地域若者サポートステーション ☎0465-32-4115へ。

## モノづくり教室

組み立ておもちゃや工場で使う工具などを使って、ものづくりの楽しさを体験しませんか。

8月24日(水)午前10時～正午。ひらつかサン・ライフアリーナ。小学校4・5年生20人(先着順・保護者同伴)。室内用運動靴・飲み物。電話または直接、7月、

# 湘南ひらつか第九のつどい 合唱団員

12月4日(日)に中央公民館の舞台に立ちます。

練習は9月6日(火)～12月3日(土)、全15回。中央公民館。練習の6割以上に参加できる小学生以上の方80人(先着順)。一般6,000円、高校生・大学生3,000円、小・中学生1,000円。

〒254-0045 見附町15-1 市民センター内のまちづくり財団文化事業課 ☎32-2237や公民館、同財団ウェブなどにある申込書に参加費を添えて、直接、7月15日(金)から、同課へ。



練習の成果を披露しましょう

# 応募方法

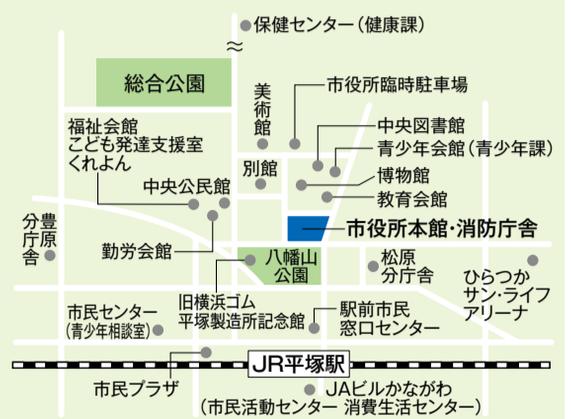
募=応募方法 (応募が必要です)

問=問い合わせ

必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。

市役所への郵便物は、〒254-8686 平塚市役所〇〇課で届きます。

募集開始日の記載がない場合、7月19日(火)午前8時30分から、受け付けます。メールの応募の場合@以下にcity.hiratsuka.kanagawa.jpを付けてください。



## 記入例

往復はがき	郵送・ファクス・メール
住所 氏名	イベント名 郵便番号 住所 全員の氏名 電話番号 その他の事項
返信	返信